

1



知らない人
何いわれても
ついてかない

「いっしょにおいで」って言ってくる知らない人について行ってしまうと、怖い目にあったり、お家に戻れなくなってしまうことがあります。

知らない人には、どんなことを言われても絶対についていってはいけません。

【質問】

- ・自分の名前を知っている人なら、ついて行っても大丈夫?
- ・「の人、近所でよく顔を見かけるな」という人は、ついて行つても大丈夫?。



Copyright©ALSOK

2



誘われて
ついていくこと
事件のはじまり

みんなに悪いことをしようとくらむ人は、いろんな嘘でみんなを誘って連れていこうとします。

ついていってしまったことで、事件にまきこまれてしまった人もいるので注意しましょう。

【質問】

次のようなことを言われたらどうしたらいい?

「飼ってる猫に赤ちゃんが産まれたんだ、かわいいから見においでよ?」

「君かわいい(かっこいい)ね!タレントにならない?くわしい話を聞きに事務所までおいで」

「おうちの人がケガして病院に運ばれてしまったよ。連れてってあげるからいっしょにおいで!」



Copyright©ALSOK

3



見た目では
いい人かどうか
わからない

「この人はわるい人じゃなさうだから安心だ」というふうに、人を見かけて判断してはいけません。どんな人であっても、「知らない人」について行ってはいけません。

【質問】

- ・絵画の4人の中でも、ついて行っても大丈夫な人はどれ?
(もちろん、全員知らない人だから全員だめ)



Copyright©ALSOK

4



ひとりほど
狙われやすいよ
注意して

誘拐などの子供を狙った事件は、一人でいるときに巻き込まれてしまうことが多いです。なるべく一人にならず、友達といっしょに行動するのがいいでしょう。

帰り道などで一人になってしまう時は、寄り道せず、周りに気を付けながら帰りましょう。



Copyright©ALSOK

5



乗りません 知らない人の 車には

悪い人の車に乗ってしまうと、ずっと遠くのどこかわからないところまで連れて行かれるかもしれません。

車の中から助けを呼んでも誰にも聞こえず、逃げられません。

絶対に、知らない人の車には乗らないでください。

【質問】

「道に迷ってるんだ、車に乗って案内してよ」と言わされたらどうする? 困っている人を助けるのはいいことだから乗ってもいい?

どう答えるのがいい?


Copyright©ALSOK

6



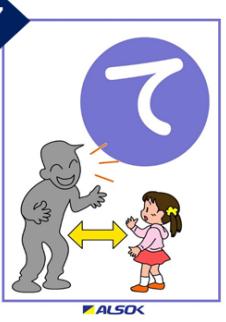
車から 逃げるときには 後ろ側

車に乗った怪しい人に声をかけられたときは、車の後ろ側に向かって逃げましょう。

車は、前に進むのは速いけど、後ろにバックするのは難しくて遅いからです。


Copyright©ALSOK

7



手のとどく 距離は危ない 近づかない

知らない人、知らない車に近づきすぎると、いきなり手をつかまれ、無理やり連れて行かれてしまうかもしれません。

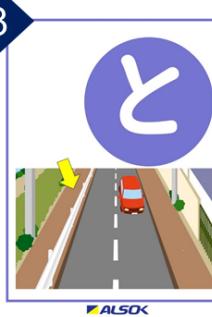
大人の手は、子供の手よりも長いから気を付けましょう。

【質問】

大人がいきなり手を伸ばしてもつかまれないとと思う距離に立ってみて。大丈夫かどうか実験してみよう。


Copyright©ALSOK

8



通るなら ガードレールの ある歩道

【質問】

なんで、ガードレールの内側のほうが安全なの?

ガードレールの内側を歩いていれば、車に乗った悪い人がみんなの手をつかもうと思っても、簡単につかむことができないので安心です。

交通事故からも守ってくれますので、できるだけガードレールや歩道のある道を選んで通るようにしてください。


Copyright©ALSOK

9



変だなと
思ったならば
離れよう

これから通ろうと思っている道に、「なんか変だな」と感じる人や車などがあった時は、遠回りになったとしても別の道を選んで通る方がいいでしょう。

「危険なものには近づかない」ことは、とても大切な心掛けです。

10



後ろ側
気配がしたら
振り返ろう

みんなに悪いことをしようとたくらむ人は、気づかれないように後ろ側からこっそり近寄ってくるかもしれません。

後ろから足音、自転車や車の音が聞こえたら、振り返って注意してください。おかしいと思ったら走ってにげましょう。

ALSOK
Copyright©ALSOK

11



ぬ
盗み撮り
顔をかくして
すぐ逃げて

悪い人の中には、子供を狙ってこっそり勝手に写真を撮ろうとする人もいます。

撮られた写真が勝手にインターネットに載せられたりして、後で嫌な思いをすることになるかもしれません。

知らない人からカメラやスマートフォンを向けられていると思ったら、すぐに顔を隠して、その場から逃げてください。

12



危険なら
すぐに叫ぼう
「助けて」と

もし、知らない人に手をつかまれたり怖い目に遭ったりしたら、勇気を出して大声で「助けてー!」と叫ぼう。

「きゃー」とか「やめてー」という声だと、子供が遊んでいるだけと思われてしまって、危険に気付いてもらえないかもしれません。

防犯ブザーを持っていたら鳴らすのもいいでしょう。

ALSOK
Copyright©ALSOK

ALSOK
Copyright©ALSOK

13

あ



遊びでは 鳴らしちゃいけない 防犯ブザー

14

す



すぐ鳴らせる 場所に持とうね 防犯ブザー

【質問】

なんで遊びで鳴らしちゃいけないの？

遊びで鳴らしていると、本当に助けてほしいときに「また子供のいたずらだろう」と思われる助けてもらえないなくなるから。

また、電池で音を出しているので、電池が少なくなると音が小さくなったり、出なくなってしまいます。

防犯ブザーがあっても、カバンやポケットなどすぐに鳴らせないところに持っていたいのでは意味がありません。悪い人は、ブザーを取り出すのを待っていてはくれません。

また、このかるたのイラストのように、ブザーを持っていることがまわりの人から見えるようにしておけば、悪い人から狙われにくくなるかもしれません。

【質問】

学校に行くときはランドセルにブザーをつけるけど、ランドセルを持たずに遊びに行くときはどうしたらいい？

ALSOK
Copyright©ALSOK

15

な



鳴らしたら すぐに逃げよう 防犯ブザー

怖い目に遭ったときに、防犯ブザーさえ鳴らせばもう安心と思ったら間違いで。

防犯ブザーは魔法の道具ではありません。危ないことがあったことを周りの人に知らせるの道具なので、すぐにその場から逃げないとつかまれてしまいます。

ブザーを「鳴らす」とことと「逃げる」ことは、セットで覚えておいてください。おうちの人と練習しておくとよいでしょう。

16

に



逃げるなら 大人の人が いるところ

危ない目に遭ったときに逃げるとよい場所は、大人の人がいる明るいところです。

逃げてはいけない場所は、かくれんぼでもなかなか見つからないような、助けを呼んでも誰にも聞こえないような場所です。

ALSOK
Copyright©ALSOK

ALSOK
Copyright©ALSOK

17



ALSOK

もしもの時 逃げ込む場所の 確認を

通学路や普段よく通る道で危ない目に遭った時に、逃げこめる場所はどこにあるかをチェックしておくことが大切です。

【質問】

自分が普段よく通る道では、どこに逃げるのがいいかな？

18



ALSOK

怖いこと あったらすぐに 知らせよう

怖い目にあったら、すぐに大人の人に何があったかを知らせてください。

そうしないと、悪い人が同じことを繰り返し、怖い目に遭う子が増えてしまうからです。

「誰にも言うなよ」と脅されていたとしても、心配しないで知らせてください。おうちの人やおまわりさんが悪い人から守ってくれます。

19



ALSOK

無理しない 大人の力にや かなわない

悪いことをしている人を見かけたとき、自分ひとりでなんとかしようとは思わないでください。

運動や武道をやっていて力に自信があっても、大人の力にはかないません。

すぐに、近くにいる大人の人に知らせてください。

【質問】

おうちの人と力比べをしてみよう。手や体を掴まれたりしたときに逃げることはできるかな？

20



ALSOK

通学路 親と一緒に 確認を

毎日あるく通学路にある、危険が潜んでいそうな場所、危ない時に逃げ込む場所などを知っておくことで、被害を防ぐことができるかもしれません。

おうちの人と実際に歩いて確認しておくとよいでしょう。

Copyright©ALSOK

Copyright©ALSOK

21



外に行く 前に伝えて 行き先を

外へ遊びに出かけるときは、「行き先」と「帰る時間」をおうちの人に伝えてから行きましょう。

これを知らせておかないと、何か起きたときに気付いてもらうことが遅れたり、どこを探せばいいのかがわからなくなってしまいます。

【質問】

「行き先」や「帰る時間」以外に、どんなことを知らせておくとおうちの人が安心するかな？（例：誰と会うか、何をするか、など）


Copyright©ALSOK

22



家の鍵 見えないところに 持ちましょう

留守番する子供を狙って、イタズラしたり連れ去ろうとする悪い人もいます。

これから家に帰って留守番する時に、家の鍵を持っていると、「この子は今から一人で留守番するんだな」と思われ、悪い人に狙われてしまうかもしれません。

家の鍵は、人から見えないように持つようにしましょう。

【質問】

家の鍵はどういうふうに持つようにすればいい？


Copyright©ALSOK

23



入る前 確認しよう 家のまわり

留守番する子供を狙って、玄関を開けたところで後ろから急にやってきて中に押し込んで悪いことをしようとする人がいます。

これを防ぐには、玄関を開ける前に、自分の後ろに怪しい人がいないか、物陰に隠れている人はいないかを確認しておくことが大切です。

安全が確認できたら、すばやく鍵をあけて家に入りましょう。

【質問】

もし、自分の後ろに怪しい人がいたらどうしたらいい？


Copyright©ALSOK

24



郵便受け 留守番前に 取り込もう

泥棒の中には、郵便受けに新聞や郵便物が溜まっていないかどうかを確認する人がいます。郵便受けにいっぱい物が溜まっている家を見ると、「きっと誰もいないんだな」「忍び込むチャンスだ」と考えるのです。

自分が留守番している時に泥棒が入ってこないよう、家の郵便受けの中のものを取り込んでから留守番をするのがよいでしょう。

郵便物そのものを盗まれてしまうことも防ぐことができます。


Copyright©ALSOK

25

た



ただいま
言おうね誰も
いなくても

ALSOK

家に帰ったときは、中に誰もいなくても「ただいま」という習慣をつけましょう。

もし、留守番中の子供を狙った悪い人がその様子を見ていた場合、「家の中に親がいるんだな」と思ってあきらめさせることができるかもしれませんからです。

26

か



帰ったら
すぐに戸締り
忘れずに

ALSOK

留守番中の子供を狙う悪い人の中には、家に入った子供が扉を閉めてから鍵をかけるまでのわずかな間を狙って、強引に扉を開けて入ってくる人もいます。

玄関に入ったら、何をするよりも先に扉の鍵を締めるようにしましょう。

27

ま



窓のカギ
開けっ放しは
危ないよ

ALSOK

鍵の開いた窓は、悪い人の大好物。

泥棒が家に入るときも、鍵がかかっていない窓や扉から入ってくることが一番多いのです。

ひとりで留守番しているときや夜寝ているときに悪い人が入ってこないように、家の窓の鍵は閉めておきましょう。

28

ほ



訪問者
絶対ドアは
開けないで

ALSOK

留守番中の子供を狙う悪い人の中には、「おうちの点検にきました」「荷物を届けにきました」というようなウソをついて玄関を開けさせ、中に入ろうとする人もいます。

見知らぬ人が訪ねてきた場合は、応答しないのが安全でしょう。

～家族で相談～

子供の成長に応じて、予め届くとわかっている荷物の受け取りを任せたりするのもよいでしょう。その場合、訪問者の顔や姿を視認・録画できるモニター付きインターホンや、ドアチェーンなどの設備があると安全性が高まります。

それらの設備がない場合は、親の在宅中などに、いずれ訪れる自立の時期に向けた経験を積ませてあげましょう。

ALSOK

Copyright©ALSOK

ALSOK

Copyright©ALSOK

29



留守番を してること 教えない

家に電話をかけて、子供だけで留守番しているかどうかを探ろうとする悪い人もいます。

留守番中に電話に出る場合は、家にひとりでいることや、名前、住所などの情報を伝えないようにしましょう。

知らない人が見ているSNSなどで留守番中だと書くことも危ないので、絶対にやめましょう。

【質問】

「おうちのひとに代わって」と言われたらどうする？

(例:今手が離せないと言っています。後で連絡するので電話番号を教えてください、など)


Copyright©ALSOK

30



不審電話 長く話さず 切りましょう

留守番中にかかってきた電話で、しつこく話しかけてくる人もいるかもしれません。

話が長引けば長引くほど、うっかりと言ってはいけないことを言ってしまうかもしれません。

しつこいときは、「忙しいので失礼します」と言って丁寧に電話を切りましょう。


Copyright©ALSOK

31



近づかない ひとけ 人気のない場所 暗い場所

あまり人がいない場所や、物かげなどでもわりの人から見えにくい場所は、悪いことをしようと考えている人にとって都合のよい場所です。

そんな場所で怖い目に遭ってしまうと、誰からも気づいてもらえないでのとても危険です。

そのような場所には、子供だけで近づかないようにしましょう。

【質問】

家の近くや学校までの道に、このような危ない場所はどんなところがあるかな？


Copyright©ALSOK

32



落書きの 書かれた場所は 危ないよ

落書きや、ゴミがたくさん捨てられたままになっているような場所は、そのような「悪いこと」をしてもばれにくく、犯罪が起こりやすい場所かもしれません。

そのような場所には、できるだけ近づかないようにしましょう。


Copyright©ALSOK

33



要注意 公園トイレは 危ないよ

公園の中でも、トイレの中で怖い目に遭う事件がたくさん起こっています。

公園のトイレの中は、周りの人から見えにくいし、誰が出入りしても怪しまれないから、とても危険な場所です。

子供ひとりで入らないようにしましょう。

【質問】

公園のトイレができるだけ使わないようにするには、どうしたらいいかな？（例：家でトイレを済ませておく、近くのお店などのトイレを借りる、等）


Copyright©ALSOK

34



エレベーター すぐに出られる 場所に立とう

マンションのエレベーターの中で、怖い目に遭う事件も起こっています。知らない人と二人っきりにならないよう注意しましょう。

乗るときは、この絵札のように、すぐに出られる場所に立つのがおすすめです。後から知らない人が乗ってきたときにすぐに出られるからです。


Copyright©ALSOK

35



ケータイを 見ながら歩くの 危ないよ

携帯電話やスマートフォンを見ながら歩くことが危険なのは、前が見えなくなって人にぶつかったり、足を踏み外してしまうからだけではありません。

スマートフォンに夢中になっていると、悪い人が近づいてきてすることにも気付きにくくなってしまいます。

イヤホンで音楽などを聴きながら歩くことも、周りの音が聞こえなくなってしまい危ないのでやめましょう。


Copyright©ALSOK

36



やなことは きっぱり断る 勇気もとう

知らない人からいっしょに来るように誘われたりしたとき、断ることを申し訳なく感じてしまうかもしれません。

でも、悪い人の中にはそのような気持ちにつけこんで、もっと断りにくくなることを言ってたり、だんだん近づいてきて強引に掴もうとしてくるかもしれません。

知らない人から何か言われて「いやだな」と思ったときは最初が肝心。すぐに、「いやです」「やめてください」とはっきり伝えて、すぐに離れるようにしてください。


Copyright©ALSOK



ネットには ワナがたくさん 慎重に



ALSOK

インターネットに繋がるスマートフォンやタブレット、パソコン、ゲーム機などは、私たちの生活をより便利で楽しいものにしてくれます。

しかし、インターネットで繋がっている向こう側には、気の合う友達になりそうないい人だけではなく、「子供をだましてやろう」「いたずらしてやろう」と考えている悪い人もいます。

普段から慎重に使い、わからないことがあったときは、すぐにおうちに的人に相談しましょう。



理解しよう ネットのルールや マナーなど

道路で交通ルールを守らないと事故やトラブルを起こしてしまうよう、インターネットを使うときも、守らなければいけないルールやマナーがあります。

これを知らなかつたり、違反したことで、たくさんの人々に迷惑をかけてしまつたり、法律違反で罰をうけることになった人もいます。

インターネットに何かを書いたり載せたりするときは、「著作権」や「肖像権」などのルールについて、知っておきましょう。

また、「自分の投稿を見た人が嫌な気持ちにならないかな」と、思いやる気持ちを忘れないようにしてください。




連絡先 知らない人に 教えない



ALSOK

携帯電話の番号やメールアドレスなどの連絡先は、知らない人に勝手に教えてはいけません。

もし、悪い人に知られてしまうと、迷惑電話やウソで騙そうとする連絡などがくるようになってしまいます。

インターネットで、連絡先や住所、名前などを教えるように言われた場合は、教えても大丈夫かどうかをお家の人に確認するようにしてください。



先生や 親との約束 守ろうね



ALSOK

おうちの人や学校の先生は、とても物知りです。

子供の身のまわりにどんな危険があるのかを、みんなよりもたくさん知っています。

そんなおうちの人や先生との約束は、命を守るためにとても大事なことなので、絶対に守るようにしてください。



Copyright©ALSOK



Copyright©ALSOK

41



ロックする
癖をつけよう
自転車に

42



面倒くさい
そのスキ狙う
悪い人

子供が被害に遭う犯罪で一番多いのは、自転車泥棒です。
自転車には、必ず鍵をかけておく習慣をつけましょう。1台に2個の鍵をつける「ツーロック」だと、より安心です。

鍵をかけたり、犯罪に遭わないために気をつけたりすることは、手間がかかるて面倒くさいと思うかもしれません。

悪い人は、その心のスキを狙っています。

急いでいる時であっても、しっかり防犯に気をつけましょう。



Copyright©ALSOK

43



忘れない
命や体は
ひとつだけ

命や体は、一人ひとつしか持つことができません。

ゲームの世界と違って、傷ついた体や失った命は、後悔しても二度と元にはもどりません。

「防犯」は、そのかけがえのない命や体を守るためのものですので、毎日気を付けて過ごしましょう。

44



教えよう
防犯のこと
みんなにも

「防犯」のことを大切な友達に知ってもらうことで、その友達を犯罪から守ることができるかもしれません。

もし、友達を見て「危ないかも」「こうしたほうが安全だ」と思うことがあったら、教えてあげるようにしましょう。



Copyright©ALSOK



Copyright©ALSOK